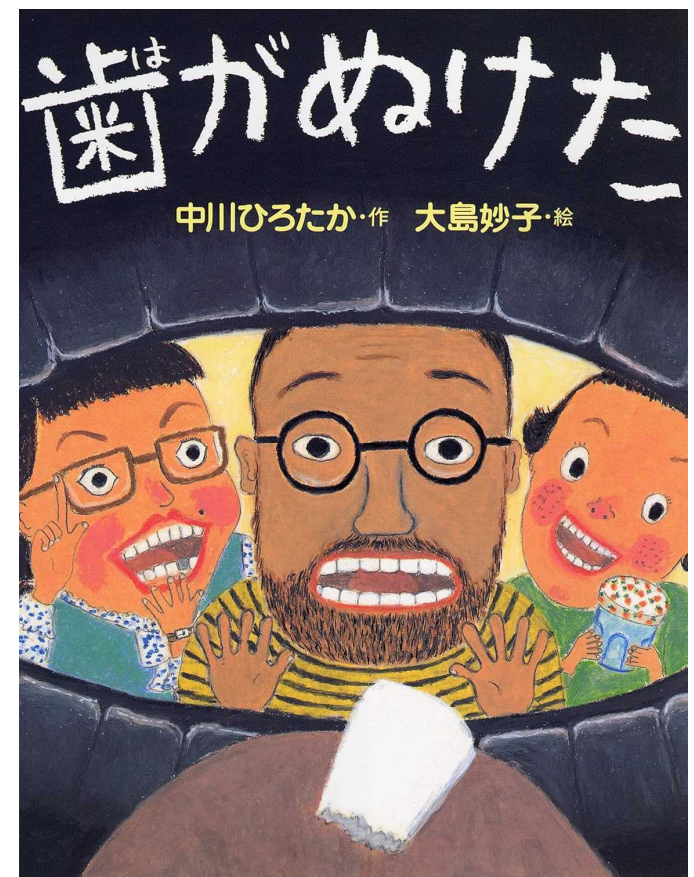
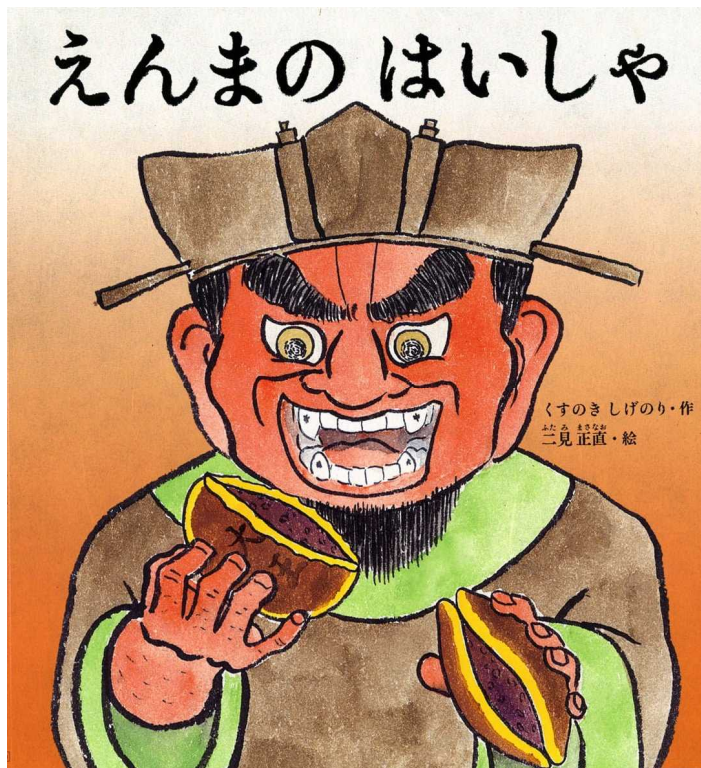
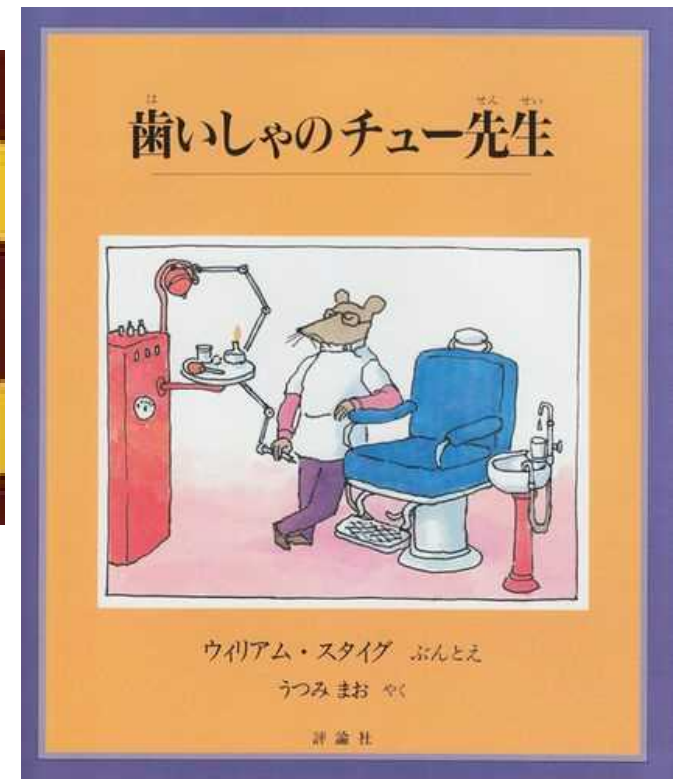
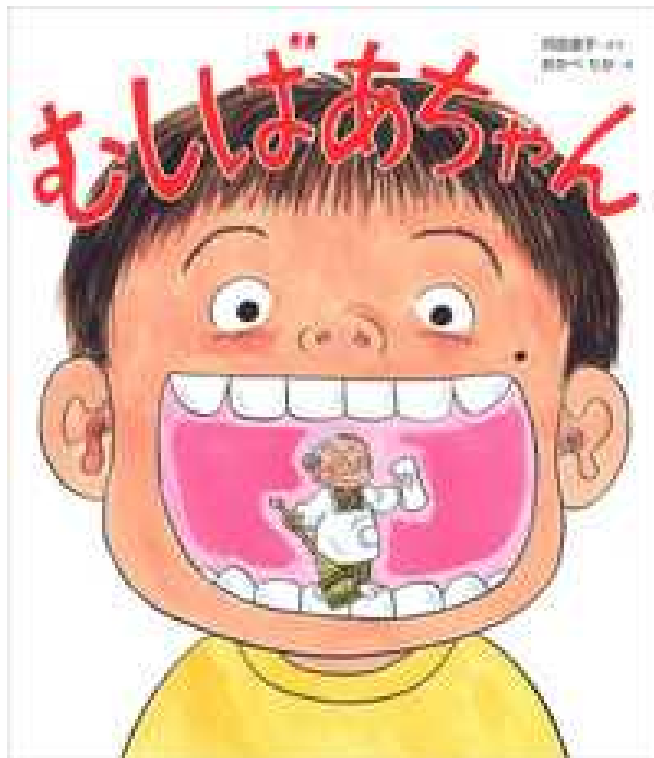


10





みがいてあげる

ぶん ふうべ あきひろ

え おおの こうへい

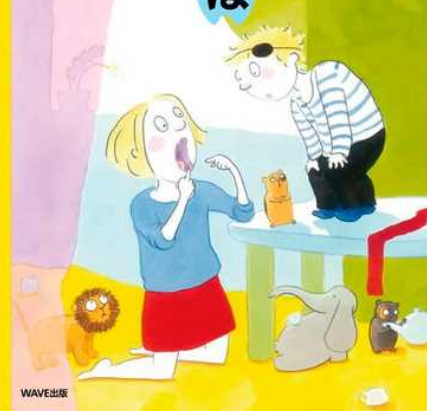


中西 翠

山本 孝

きたぐらぐらのは

コルネリア・ファン・ケス ケルステン・マイヤー 監訳 あさみ・しょうこ 訳



WAVE出版

むし歯のしょうたい

知ってびっくり!
のひみつが
わかる絵本

楠 章子 文
ながおか えつこ 絵



ねずみくんといっしょ はははは

構成・なかえよしを 絵・上野紀子

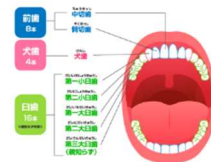


イラストレーション・鳥居敏彦
監修・医療法人社団 正睦会
すみれ歯科 新宿御苑前クリニック



【授業実践振り返りカード】 6月

学校名 富士見小学校	学年 2 学年
授業者氏名 手塚 幹也	
題材名 「自分の歯ってどんな形？～粘土を使って～」	
主 眼 歯と口の健康について学んだ子どもたちが、自分の歯の形や並びに着目し、つくり方を工夫して模型を表現することを通して、自分の歯についての気づきや観察力を高め、健康への関心を深める力を培うことができる。	
学習材 ・ 歯の分類のイラスト（8020 推進財団） ・ 粘土で作った歯の模型	
成 果 ・ 手鏡を使いながら自分の歯をよく観察し、大人の歯と子どもの歯の色や形の違いや、前歯奥歯の役割を考えながら歯の特徴を観察することができていた。 ・ 油粘土を使ったことにより形が変形しやすく、観察して気づいたところなどを、へらなどを使って細かいところまで表現することができていた。 ・ 「むし歯になったらせっかくの歯の形も変わっちゃいそう」、「自分の歯がきれいに磨けて嬉しい」などと、自分の歯に関心を持つことができた。	
課 題 ・ 鏡だけでは、歯の細かいところまで見えずらいこともあったかと思うので、歯の模型などがあれば子どもたちも歯の形がイメージしやすいかなと感じた。 ・	



学校名 富士見小学校	3 学年
授業者氏名 小林 直美	
題材名 「正しい歯みがきの仕方でおやつ後の歯をきれいにしよう」	
主 眼 2・3年時に行った歯科健診の結果を見比べて自分の歯の状態を知り、歯みがきの大切さを感じた子どもたちが、オレオクッキーを食べた後の歯の汚れに着目し、手鏡で歯のどの部分が特に汚れているかを調べて歯の図に色ぬりをしたり、給食の時間とは違った歯みがき動画を見ながら歯みがきをしたり、お家の人に仕上げ磨きをしてもらったりすることを通して、おやつ後にどのように磨いたら自分の歯がきれいになるのか知ることができる。	
学習材 ・オレオクッキーを食べた後の自分の歯 ・歯みがきのうた「イ～ハ～」動画【みがきかた編】/2分51秒/ライオン株式会社 ・保護者による仕上げ磨き（土曜参観の実践のため）	
成 果 ・オレオクッキーを使ったことで、おやつを食べた後の自分の歯の状態を視覚的に捉えることができ、その汚れを取り除こうと意欲的に歯みがきをする姿につながった。 ・おやつを食べた後に、奥歯の溝に汚れが集中していることに気づいた子どもが多く、その部分の汚れを落とすために、歯ブラシを優しく小刻みに動かしたり、歯ブラシの当て方を工夫したりしながら磨いている様子が見られた。磨き残しがないように、動画のように奥歯から順番に磨く大切さに気づいた子どももいた。 ・給食の後の動画とは違った動画を流すことで新鮮な気持ちで集中して歯みがきをする姿が見られた。最後に仕上げ磨きをしてもらうことで、自分だけでなくお家の人からも、歯がきれいになったかどうかを見届けてもらうことができよかった。 ・久しぶりに仕上げ磨きをしてもらったと言う児童も多く、保護者の方々に子どもたちの歯の状態を見てもらったり、今後も定期的に仕上げ磨きをしてもらうようお願いしたりする機会となってよかった。	
課 題 ・オレオクッキーのように、目に見えない汚れもある。日々の歯みがきの中で、磨き残しがないように、今回の学びを活かし、奥歯から順番を守ってまんべんなく歯みがきができるように、子どもたちの歯みがきの様子を見ながら声がけをしていきたい。 ・今回は奥歯の汚れはよく見えたが、歯茎と歯のきわの汚れは見えなかった。カラーテスターを使い、奥歯以外に汚れがつきやすい場所についても学習していきたい。 ・歯みがきの重要性は分かっても、実践にうつせない児童がいることが予想される。給食後の歯みがきに集中して取り組めるよう、個別に声がけをしていきたい。 ・さらに、自分の歯への関心を高められるように、他教科と関連づけながら学びを深めていきたい。	

【授業実践振り返りカード】 6月

学校名 富士見小学校	学年 4 学年
授業者氏名 高橋 準	
題材名 「歯の大切さ」(総合的な学習の時間)	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ(or 体験した・調査した)子どもたちが(既習や経験)、○○に着目し(健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して(本時の中核的な学習活動)、○○する力(育成する資質・能力)を培うことができる。	
主 眼 児童集会で「歯」についての関心を高めた子どもたちが、自分たちのはみがきの様子を客観的に着目し、歯を大切にすることを調べることを通して、歯を大切にすることを調べる知識や態度を培うことができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) ↓自分たちの歯みがきタイムの撮影動画(よろしくない状況)↓	
	
成 果 歯や口の不衛生、不健康な状態が命に関わる病気につながることを自分たちで調べること気づいていた。 学習日以降のはみがきタイムでは、歯みがきに間に合うように片付けの時間を自分たちで設定(「歯みがきの前に1分時間をとるね」など)したり、丁寧に歯みがきをする人が増えたりした。	
課 題 学習直後は歯や口の健康に関する意識が高まっているので、歯みがきタイムを大切にしているが、日が経過したあとも意識の高まりが継続するように、支援は必要と考えている。	

【授業実践振り返りカード】 6月

学校名 富士見小	学年 5 年
授業者氏名 赤堀万里子	
題材名 「 むし歯になりやすいところ 」	
主 眼 講演会でむし歯について学んだ子どもたちが、むし歯になりやすいところに着目し、フロスを使って自分の歯みがきをやり直すことを通して、ていねいな歯みがきでむし歯を防ごうとする意識を培うことができる。	
学習材 ○講演会での 富士見小学校の齲歯の比率グラフ ○講演会での、むし歯になりやすいところの資料	
成 果（講演会） ○ 富士見小学校では、こんなにむし歯の人が多いうことに驚き、しっかり歯みがきをしたいと思う児童が何人もいた。 ○ プラークにはたくさんの黴菌がいることから、歯みがきをしっかりしたいと感じた児童もいた。 自分たちの歯磨きを振り返る機会となった。	
課 題 ○ フロスは普段から使い慣れていない児童も多いので、歯ブラシでの効果的な磨き方をさらに学んでいくとよい。	

【授業実践振り返りカード】 6月

学校名	富士見小学校	学年	6 学年
授業者氏名 大道 健人			
題材名 「 プラークコントロールを身につけ、歯と歯ぐきの健康を保とう 」			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 前時でとくに磨きにくい部分に意識を向けて歯を磨こうとした子どもたちが、歯肉炎の原因に着目し、磨きにくい歯と歯の間の部分を、デンタルフロスを使って磨いたり、プラークコントロールの重要性を理解することを通して、日々の歯みがきと同様に、自分の夢に向かって毎日がんばることの目標設定をすることができる。			
学習材 ・ 全国歯みがき大会の映像資料 ・			
成 果 ・ 小学生の約4割が歯肉炎であることを知ったり、重度の歯肉炎に罹患した小学生の歯の写真を実際に見たりしたことで、必要感をもって丁寧な歯みがきを実践しようとする姿がみられた。 ・ 実際にデンタルフロスを使って手鏡を見ながら歯みがきをしたことで、歯がきれいになった実感をもつことができた。 ・ 授業の振り返りに「未来宣言カード」に自分の頑張ることを記入した。毎日歯を磨く自分をつくることは、自分の夢に向かってコツコツ努力する自分をつくることにつながるという視点をもって振り返る機会になった。			
課 題			